

平成28年度 第1回岩見沢市まちづくり基本条例推進委員会 議事録(要旨)

●日時、出席者等

日時	平成28年8月1日(月) 午後3時30分～午後4時30分
会場	岩見沢市生涯学習センター「いわなび」2階 研修室1
出席委員等	委員9名 欠席1名
傍聴者	1名
事務局	5名

●議事録(要旨)

1. 開会

2. 委員長挨拶

(中田委員長より挨拶)

まちづくり基本条例が施行になってから、もう1年を経過いたしました。この条例を作るきっかけとなったのは、人口減少がどんどん進み、自治体の財政状況はどんどん後退していくという社会情勢の中で、自治体行政はどういうまちづくりを進めていけばいいのかというのが課題になってきており、行政だけでまちづくりを進めていくのではなく、市民も一体になって取り組んでいかなければいけないのではないか、ということでございます。

行政としては、まちづくりのためにどういったお金の使い方をすればいいのか、それに伴う事業をどのようにすればいいのか、一番効果的な取り組みはどのようなものかということが、課題となっていて、あるところで、まちづくり推進委員会の意見などを聞きながら、時代に応じた適切な事業の取り組みを進めていきたいと考えていると受け止めております。

私ども委員会は、行政の事業が時代に合った取り組みなのか、それがまた市民にとって一番ありがたいものになっているか、などといったことについて、一年一年確かめながら、ちょっとこれはずれているのではないかと、あるいはちょっとこれはどうなのかというようなことについて意見を言うことが出来るということで、責任も使命も大きいのかなと思っています。

色々なご意見を頂きながら、この委員会としての使命を果たしていくことが出来ればと考えているところでございます。どうぞよろしくお願いを申し上げ、この場のご挨拶にいたします。

3. 議題

(1) 条例の社会情勢等との適合状況について

(事務局から説明)

条例において、施行から起算して5年を超えない期間ごとに、この条例の内容が社会情勢の変化等に適合しているかどうかについて検討するとされておりますが、より実情に即した条例になるよう各年度の1回目の推進委員会にて議題として提起させていただくことを、前回の委員会で皆様から了解をいただいております。

今年度につきましては、この委員会が第1回目になりますので、条例の社会情勢等との適合状況について提起をさせていただきます。

(中田委員長)

特に意見や質問がありませんので、社会情勢との適合について確認いたします。

（２）市の基本条例に係る取組状況について

（事務局から資料１及び資料２に基づき説明）

まず、昨年度調査からの変更点などについて、新規追加事業はすべて朱書き、一部変更は変更点を朱書き、事業終了はすべて青書きの見え消しで記載させていただいております。今回の調査で、参加・協働の事項で事業が多く追加されておりますが、本調査が市役所内で浸透が図られ、調査としての精度が上がったということでご理解いただきますようお願いいたします。

また、調査の様式ですが、前回の委員会でご要望いただいたことを踏まえ、事業の結果などが判断しやすいよう参加者数や支出金額といった欄を一部追加しております。

続きまして、事前にいただいた質問についてご説明いたします。

協働に関する事項のうち、魅力ある店舗づくり支援事業補助金につきまして、「住みよいまちづくりを進めるためには事業としては重要なことでございます。現況として、市内の空き店舗・空き家の数はどのくらいあるのでしょうか？」というご質問をいただいております。

この事業の対象地域において把握されている空き店舗、空き家の数につきましては、昨年１０月現在、空き店舗の数が商業業務集積地区で６０件、中心市街地区域で７４件となっております。さらに空き家、ここである空き家というのはあくまでも店舗として利用可能な空き家ですが、商業業務集積地区の中では０件、中心市街地区域では２７件となっております。

また、中心市街地も含む市内全体の空き家の状況ですが、平成２５年の住宅・土地統計調査で、全部で４,６１０件が空き家となっております。そのうち、近隣住民の方などから管理不全な状態として通報があった空き家につきましては、本年６月末現在で２０１件把握しております。

以上が、ご質問に対する回答となりますのでよろしくお願いいたします。

また、取組状況に対するご意見などは、委員会終了後、各担当課に伝達するとともに、市役所内ネットワークの掲示システムに掲示して、全職員で情報の共有を図っております。昨年度ご意見いただいた中で、広報誌のカラー化については今年度の４月から導入になっておりますし、ホームページが見づらいというご意見についても、先月から吹き出しが付くよう改善されるなど、見やすいように調べやすいようにということで色々検討されております。

このように、取組状況に対していただいたご意見などについては、事業に反映できるよう各担当課にて検討されておりますので、今後も是非ご質問やご意見をいただきますよう、お願いいたします。

（委員からの意見）

先ほど説明していただいた空き店舗、空き家の数について資料２の空欄に入れていただきたいです。

（事務局）

わかりました。（次回の資料には）入れさせていただきます。

（委員からの意見）

表現の仕方や内容が各所管でバラバラなので、マニュアルのようなものを示して、ある程度はわかり良いような統一性を持たせた方がよろしいかと思います。

（事務局）

この調査は昨年から行っており、なるべく漏れが少なくなるよう、昨年と今年に関しては、書き方などの制限を少なくしております。今後、調査が浸透していくと、ルール付けなどがしやすくなると思いますので、より見やすく分かりやすくなるようルール化などについて検討させていただきます。

(委員からの意見)

どうしても専門用語というか、自分たち（行政に携わる、携わっていた人間）が使い慣れた言葉が出てきているので、誰もがわかりやすい言葉にさせていただいた方がいいかと思います。

(委員からの意見)

参加でも協働でも環境部の行っている事業が一つぐらいしか入っていないので、鮭の放流やクリーングリーン作戦などは分かりますが、例えばゴミの関係のイベントなど、それぞれの部署の考え方があると思いますが、後で担当の方に確認されてみてはいかがかかと思います。

(事務局)

ゴミに関する事業については、収集処分場を市が直営で管理していた時は、ゴミの減量に関するような事業など色々と行っておりました。現在は、いわびか（収集処分場）が直営ではなく委託管理となっているものですから、そちらの方で施設見学会などが実施されております。

(委員からの意見)

市民会議が主催されていたゴミの祭典や環境ツアーなどが、入ってなかったので担当部署の考え方なのでしょうか？

(事務局)

より精査すれば他に事業があるのかもしれませんが、いまお話がありました事業については担当課から提出いただいております。

(委員からの意見)

取組状況の調査票は、データベースとかにされているのでしょうか、ただの表なのでしょうか？

(事務局)

この調査自体はエクセルの表で行い、ホームページ等で委員会の資料として載せております。お話のありましたデータベース化などにつきましては、前回の委員会でも活用方法についてご意見いただいております、今後検討させていただきます。

(委員からの意見)

インターネットのウェブページから取ることができる表はエクセル形式ですか？

(事務局)

ホームページに掲載しているのはPDF形式ですが、エクセル形式のものが必要であれば提供させていただきます。

(委員からの意見)

終了となった事業の理由を知りたいです。期間で終わってしまったのか、それとも事業の必要が無くなったのでしょうか。

(事務局)

例えば、小学生の初級スキー教室について、この事業は市とスキー連盟との共同開催から、スキー連盟主催となり、市からスキー連盟に補助金として支援するというように取り組み方が変更となったため、参加に関する事項では終了となり、協働に関する事項では新規となっております。

また、説明会やパブリックコメントなどというのは、期間などがある程度決まっており、期間が終われば事業終了となります。

(委員からの意見)

次回調査では備考欄にスキー連盟単独開催に変更とか明記するというのはどうでしょうか。

(事務局)

終了理由などの明記については検討させていただきます。

(委員からの意見)

中学生などは、利根別川クリーングリーン作戦などのボランティア事業の時期が毎年ちょうど部活の時期に重なってしまい、出たいけど出られないということがあるので、少し回数を増やしたり、時期を7月とか8月とかにずらしていただけると良いかなと思います。ボランティア事業を増やして学生とかも多く参加できるものがあると、子どもたちも勉強になるかなと思います。

(事務局)

蛙の稚魚の放流やクリーングリーン作戦については、市民会議が主催となっているので、時期や回数を変更するというのはなかなか言えない部分がありますが、このようなご意見をいただきましたというのは、ぜひ伝えさせていただきます。

(委員からの意見)

季節ごとに色々なイベントが行われていますが、その中でボランティアの中高生を募集していますとか、参加するチャンスを多く作ってあげるといっているのはどうでしょうか。(ボランティアを募集している事業をまとめて情報提供することで)より参加するチャンスが広がるという気がします。

既にボランティアを使って事業されているところもあると思いますが、どちらかと言ったら関係者のボランティアが多いのかなと思いますので、市民参加をもっと増やすと言う意味合いでは、中学生や高校生、大学生などの募集というのも今後の事業の展開としてあるのかなと思います。

(中田委員長)

要望ということでいただくこととします。

他に意見や質問がありませんので、議題(2)については終了いたします。

4. その他

(事務局から説明)

次の開催時期は未定ですが、今後の状況等を踏まえまして、また改めてご案内させていただきますけれども、今回と同様に、事前にご案内や資料提供をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(中田委員長)

その他、委員から特に意見や質問はありませんので、第1回岩見沢市まちづくり基本条例推進委員会を閉会します。

5. 閉会